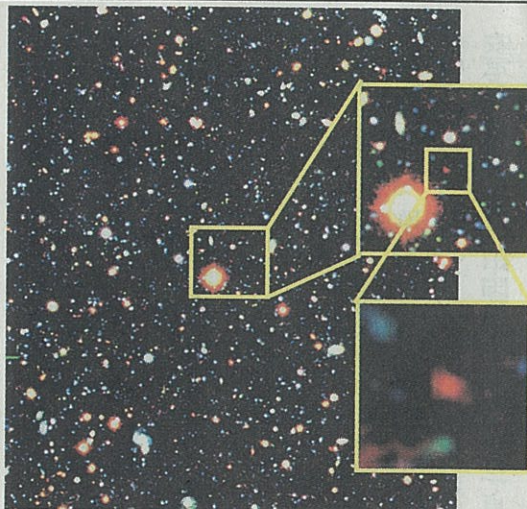


〔3〕

総合・核心

12版

2006年(平成18年)9月14日(木曜日)



最も遠い銀河

地球からの距離がこれまで観測された中で最も遠い約百二十八億八千万光年にある銀河を、国立天文台や東京大などの研究グループがハワイのすばる望遠鏡で発見し、十四日付の英科学誌「ネイチャー」に発表した。

距離が正確に分かっている

発見された約一二十八億八千万光年にある銀河(右下拡大画像の中央にある赤い点) 国立天文台提供

国立天文台など「すばる」で発見

銀河では、約百二十八億三千万光年の銀河がこれまでの最遠。これを約六千万光年更新した。

宇宙誕生の大爆発「ビッグバン」の時期を今から約百三十六億六千万年前とするモデルを用いて計算したところ、今回の銀河は、かみのけ座の方向約百二十八億八千万年前の宇宙、つまり宇宙誕生後わずか約七億八千万年の宇宙にあることになる。